

「東北地域の加工・業務用野菜の普及拡大セミナー」開催要領

1 目的

日本で消費される野菜の約6割は加工・業務用であり、そのうち輸入品が3割を占めており、食料安全保障の観点から加工・業務用野菜の国産シェアを奪還することが喫緊の課題となっています。

これを踏まえ、農林水産省では加工・業務用を中心とした国産野菜の生産、供給に関わる事業者の経営安定化等を通じ、国産野菜の活用拡大を図る「国産野菜シェア奪還プロジェクト」を令和6年4月に立ち上げたところです。

このような中で東北地域においては、主食用米の需要が毎年減少傾向にある中、水田農業における野菜や果樹等の高収益作物への転換により高収益化を推進することが重要な課題となっています。

このため、特に需要が拡大している加工・業務用野菜について、東北の水田地域への導入、産地化に向けた取組を推進するため、既に加工・業務用野菜の生産に取り組んでいる生産者、実需者及び小売業者それぞれの課題把握や共通認識の形成を図ることを目的としてセミナーを開催します。

2 開催日時等

- (1)日 時：令和7年3月12日（水） 13:30～15:30
- (2)主 催：東北農政局生産部園芸特産課
(宮城県仙台市青葉区本町3-3-1)
- (3)開催方法：Web開催（Teams）
- (4)参集範囲：農業者、農業者団体、小売業者、加工業者、市町村担当者、各県担当者等

3 内容

- (1)開会挨拶 東北農政局 次長 原 孝文
- (2)話題提供
東北の水田農業における高収益野菜の導入検証プロジェクトについて
東北農政局生産部園芸特産課 野菜振興係長 池田 千春
- (3)事例発表
 - ① 加工・業務用野菜キャベツ生産の取組について
青森県 おとべ農産合同会社 業務執行社員 乙部 暁 氏
 - ② 加工・業務用野菜たまねぎ生産の取組について
岩手県 農事組合法人リアル 代表理事 新渕 伸彦 氏
 - ③ 加工・業務用野菜ねぎ生産の取組について
福島県 株式会社なかた農園 代表取締役 中田 幸治 氏
- (4)情報提供
 - ① 加工・業務用野菜の需要動向等について
生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合 店舗商品本部
本部長補佐 村上 寛哲 氏
 - ② 実需者から見た加工・業務用野菜の現状や今後の展望について
株式会社フレッシュおの 常務取締役 小野 陽介 氏
- (5)意見交換
事例発表及び情報提供への意見・要望等について
- (6)閉会